

パン・タデウシュ物語

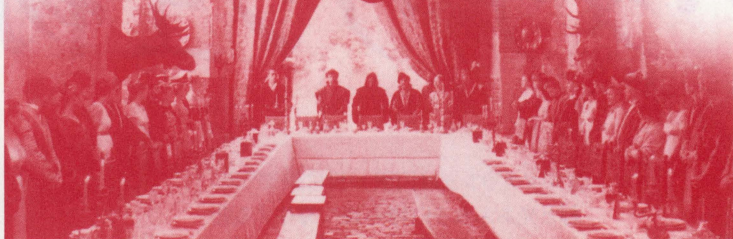
アンジェイ・ワイダ監督作品

Pan Tadeusz

美しい大地に奏でられる
愛と哀しみのポロネーズ。
戦いと和解の壮大な物語。

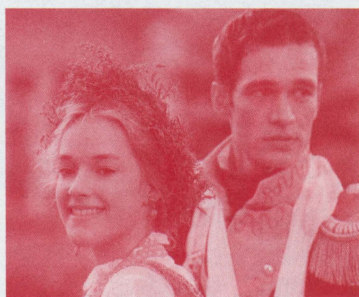
ミツキエヴィチの詩の中に浸透している、ポーランド人にむけた優しい皮肉と新鮮さが、私のこれまでのパレットに、明るく希望の色彩を与えてくれた。

——アンジェイ・ワイダ



2000年、アメリカ・アカデミーはポーランドの巨匠アンジェイ・ワイダ監督に名誉賞を授与した。「世界中の人々に、歴史、民主主義、自由について芸術家としての視点を示した」ことが授賞理由である。ワイダ監督は現在74歳、1954年の第一作「世代」から今日まで、映画史上に残る名作の数々を発表してきた。最新作「パン・タデウシュ物語」は、そのワイダ監督が満を持して、持てる力を全て注ぎ込んだ大作であり、人々を物語に陶醉させ、魂を高揚させる美しく力強い作品である。昨秋、ポーランドで公開されるや国民の熱狂的支持を受け、記録的大成功を収めた。年内にも国民（約4000万人）の3分の1が鑑賞することになるといわれている。

「パン・タデウシュ物語」は、ポーランドの国民的詩人アダム・ミツキエヴィチ（1798-1855）が、1834年に亡命先のパリで発表した長編叙事詩「パン・タデウシュ」の映画化である。この作品はポーランド・ロマン主義文学の最高傑作といわれ、ポーランド人必読の書として、広く読み継がれてきた。



力強い感動を生む、 20世紀映画芸術の掉尾を飾る傑作!

「パン・タデウシュ物語」の舞台は、ナポレオンのモスクワ遠征を控えた1811年から1812年、ポーランドの第三次分割によりロシア支配下におかれたリトアニアの農村である。

小貴族（シュラフタ）ホレシュコ家とソプリツァ家は「ロミオとジュリエット」のように対立していた。20年前に起こったヤツェク・ソプリツァによるホレシュコ卿殺害に端を発した争いは、今なお続いている。

ある日、ヤツェクの息子、若きタデウシュが長い学生生活を終えて帰郷した。彼はホレシュコ家の美しい少女ゾーシャを見つけ、すぐに恋に落ちる。白樺の森と黄金色の麦畑、美しい田園のなかで、人々は失われた祖国への思いを語り、映画は愛と哀しみ、復讐と和解の物語を壮大なスケールで展開する。近づくロシアとの戦い。奏でられるポロネーズの調べ。そして彼らは自由への道を突き進んでゆく……。

これぞ映画の醍醐味、ワイダ監督作品の集大成!

「パン・タデウシュ物語」は映画芸術の神髄ともいえる。製作には、ポーランドを代表する映画人が顔をそろえ、俳優の演技、台詞、撮影、美術、音楽など、スタッフ・キャストが一体となって圧倒的な存在感のある感動作が出来上がった。

タデウシュ役に選ばれたミハウ・ジェブロフスキは若手人気スター。ゾーシャ役のアリツィア・パフレダ＝ツルシは、オーディションに集まったポーランド中の少女たちの中からワイダ監督が見出した高校生で、これが出演第一作となる。また、忠臣ゲルヴァズイ役のダニエル・オルブリフスキ、ローバク司祭役のボグスワフ・リンダ、その弟であるソプリツァ判事役のアンジェイ・セヴェリン、いずれも国際的に活躍し、ワイダ監督の作品ではおなじみの名優たちである。映画の最後を流麗に飾るポロネーズは、作曲家ヴォイチェフ・キラールの渾身の作品で、民族の魂と誇りを表わしてあまりある。

なお、タイトル「パン・タデウシュ物語」の「パン」は、男性の名前や肩書につける敬称で日本語の「さん」にあたり、当時は身分の高い者にも使用された。



監督・脚本:アンジェイ・ワイダ(2000年アカデミー賞名誉賞受賞) / 原作:アダム・ミツキエヴィチ(『パン・タデウシュ』講談社文芸文庫刊)
撮影:パヴェウ・エデルマン / 音楽:ヴォイチェフ・キラール / 美術:アラン・スタルスキ / 衣装:マクダレナ・テスワフスカ=ヘルナフスカ、マウゴジャータ・ステファニャク / 編集:ヴァンダ・ゼーマン / 製作:レフ・ルイヴィン
ボグスワフ・リンダ / ダニエル・オルブリフスキ / アンジェイ・セヴェリン / グラジーナ・ジャボウォフスカ / マレク・コンドラト / ミハウ・ジェブロフスキ / アリツィア・パフレダ＝ツルシ / クシシュトフ・コルベルゲル
1999年 / ポーランド＝フランス合作 / 上映時間:2時間34分 / 配給:アスミック・エース

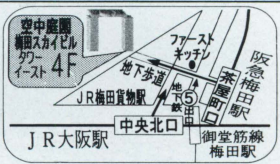
近日、待望のロードショー!!

(上映スケジュールは、
劇場にお問合せ下さい)

前売特別鑑賞券一般1,500円(当日一般1,800円の処)好評発売中!

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(6440)5977
梅田 ガーデンシネマ

※劇場窓口、チケットぴあ、ローソンチケット、各プレイガイドにて発売中!



http://www.cineplex.co.jp